

会長あいさつ

沖縄県特別支援教育研究会のホームページを御覧いただきまして感謝申し上げます。

令和8年4月より、本研究会の会長となりました沖縄県立美咲特別支援学校の赤嶺信吾と申します。

さて、本研究会は沖縄県特殊教育研究会として昭和40年に設立され、今年度で61年目を迎える歴史ある研究会であり、これまで知的障害教育の充実を図る様々な取組等を行ってきました。現在では、特別な教育的支援を必要とする知的障害のある幼児児童生徒の教育の発展と、実践研究の推進に寄与することを目的に、年間3回の評議員会と研修会を実施し、12月には研究大会を開催しています。

昨年は、大会主題を「変化する社会の中で主体的に活動する子どもの育成～指導と評価の一体化に基づく分かりやすい授業づくり～」とし、特別支援教育士スーパーバイザーの後野文雄氏による講演会や、各教科の指導をはじめとする7つの分科会による研究発表が行われ、各分科会では積極的な意見交換などが行われています。

さて、令和7年9月に取りまとめられた文部科学省教育課程企画特別部会の論点整理では、多様な子ども一人一人の学びを保障する教育課程の在り方が、これまで以上に明確に示されました。特に、個々の教育的ニーズに応じた指導の充実、教育課程の柔軟な編成と評価、通常の学級・通級・特別支援学級・特別支援学校の連続性、そしてインクルーシブ教育システムの深化が重要な視点として整理されています。

また、特別支援教育においては、通常の学級における合理的な配慮の提供、通級による指導を受ける場合の教育課程の特例的な取り扱いの見直し、自立活動の指導などを充実させることなどが検討事項として挙げられています。

本研究会といたしましては、今後の国の動向等を踏まえ、教育現場の実践と理論を往還させながら、子どもの「学びたい」という思いを支え、教職員の特別支援教育の専門性をさらに深めていきたいと考えております。

結びに、本研究会が、会員の皆様にとって実りある学びとなり、次の授業実践への確かな一歩となることを願うとともに、今後とも変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます、会長あいさつといたします。

令和8年4月吉日

沖縄県特別支援教育研究会

会長 赤嶺 信吾

(沖縄県立美咲特別支援学校 校長)